

と議会だより とのしろう



元・Emm's!
土庄町



豊かな心を育む ～子育て支援センターのピョ〜ンと遊ぼうタイム～

新議員 12人決まる 2-3

新年度予算のあらまし 4-5

町長の施政方針を問う 9

一般質問 (7人の議員が町政を問う) 12-15

まちの元気印 (ホットハートサポーター) 16

議会活動スタート～

4月26日の議員選挙の結果、新しい12人の議員が決まりました。(任期平成27年5月12日～平成31年5月11日)5月19日に臨時会(初議会)を開き、正副議長、常任委員会の委員などを決めました。

これから、4年間町のために頑張りますので、よろしく願います。

【議員紹介】
① 党派・期数 ② 議員としての抱負
※氏名の前の数字は議席番号

ごあいさつ

この度、議員の皆様のご推挙により、議長という大役にご指名をいただきました。大変光栄であるとともに、その職責の重さに身の引き締まる思いであります。

わが町は、厳しい財政状況の中、多額の費用を必要とする小豆島中央病院の建設、肥土山浄水場の更新工事などを進めております。また一方では、急激な人口の減少による過疎高齢化へのいろいろな対策が喫緊の課題となっております。このようななか、町は地方自治体の生き残りをかけた「地方創生」の戦略策定に取り組んでおります。

浅学非才な私ではございますが、議員一同力を合わせて町の創生に向け、一丸となって取り組む決意を新たにしております。皆様のご指導ご鞭撻を心からお願い申し上げます。議長就任のご挨拶いたします。

議長 濱中幸三



議長
12. 濱中 幸三 (68歳)

① 無所属・2期
② 私は、お年寄りが安心して元気に暮らせ、若者が生き生きと働ける島の実現に向けて、皆様の声を町行政に届けると共に町の未来について提案します。



副議長
11. 佐々木 邦久 (71歳)

① 無所属・2期
② 地域の伝統、文化を守り、活力のある地域と移住者が住みやすい町づくりに取り組みます。鳥獣被害対策を今以上に取り組みます。



2. 岡本 経治 (52歳)

① 無所属・1期
② 故郷を愛する者として子ども達が笑顔で元気に育ち皆が安心して暮らせる町、土庄に住んで良かったと言える町を創るため皆さんと共に一生懸命頑張ります。



1. 岡野 能之 (44歳)

① 無所属・1期
② 町民主体で「この町に住んで良かった」と思える、明るい町を創っていくための代弁者として、微力ではありますが頑張りますのでよろしくお願い致します。

委員会等の構成

(◎委員長 ○副委員長)

総務建設常任委員会

◎ 山崎 勝義
○ 岡本 経治

高橋 正博
木場 隆司
川本 貴也
井上 正清

教育民生常任委員会

◎ 佐々木 邦久
○ 福本 耕太
○ 岡野 能之

濱野 良一
母倉 正人
濱中 幸三

議会運営委員会

◎ 井上 正清
◎ 母倉 正人
○ 岡野 能之
○ 福本 耕太
○ 山崎 勝義
○ 佐々木 邦久

議会広報特別委員会

◎ 福本 耕太
◎ 高橋 正博
○ 岡野 能之
○ 濱野 良一

新しい議員が決まる

～新体制で4年間の



4. 高橋 正博 (65歳)

① 無所属・1期
② 土庄町議会議員として一番大切な事、町益のためになる議会運営を目指します。また、町民の皆様には、自信と誇りが持てる町づくりに努力いたします。



3. 濱野 良一 (54歳)

① 無所属・1期
② 経済・教育・福祉・医療・交通等のバランスを考えた町づくりと、行政と町民を繋ぐ、信頼されるパイプ役となるよう、初心を忘れず活動いたします。



6. 母倉 正人 (71歳)

① 無所属・1期
② 新土庄町議会議員として、新しい人生の第一歩が始まります。町に元気を、地域に元気を目標にこれから土庄町、地域住民のために働きたいと思っています。



5. 木場 隆司 (67歳)

① 無所属・1期
② 新議員として気が引き締まる思いです。議会の使命である政策の最終決定と行政運営の批判と監視が達成できるよう議会の一員としてがんばります。



8. 山崎 勝義 (71歳)

① 無所属・2期
② 安全、安心な町づくり、住んでいて良かったと思う町づくりを目指します。



7. 福本 耕太 (36歳)

① 日本共産党・2期
② 医療・福祉・教育の充実こそが本来の自治体の任務です。町民の立場でスジを通し、政治の流れを変えるため、みなさんと力を合わせてがんばります。



10. 井上 正清 (71歳)

① 無所属・4期
② 4期目を迎え、進行する少子高齢化社会の中での子育て支援、福祉・医療・観光と産業の振興・災害対策等に取り組む、活力のある町づくりを目指します。



9. 川本 貴也 (43歳)

① 無所属・3期
② 議員として今一度初心にかえり、新たな気持ちで、全力で議会活動に取り組む所存です。町民の皆様には、より一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

小豆島中央病院企業
団議会
木場 隆司
母倉 正人
山崎 勝義
井上 正清
佐々木 邦久
濱中 幸三
香川県後期高齢者医
療広域連合議会
佐々木 邦久
議会選出監査委員
木場 隆司

伝法川防災溜池事業
組合議会
山崎 勝義
濱中 幸三
小豆地区広域行政事
務組合議会
福本 耕太
山崎 勝義
川本 貴也
井上 正清
佐々木 邦久
濱中 幸三

木場 隆司
佐々木 邦久
濱中 幸三

3月定例会

3月定例会が3月4日から16日まで開かれました。初日に町長の平成27年度施政方針説明の後、平成26年度補正予算7件、平成27年度当初予算12件、条例24件、その他9件、人事案件2件が提出されました。

補正予算及び人事案件を除く議案は、委員会付託による審議を経て、すべての議案を原案どおり可決しました。
一般質問では、7人の議員が町政について質問を行いました。

こんなことに使われます！平成27年度の主な事業！

一般会計予算80億3700万円を可決

公立病院再編整備事業
小豆島中央病院の建設費用を含む小豆島中央病院企業団への負担金

10億2311万円




豊島小中学校建設事業
豊島小・中学校併設校舎の建設

8827万円



企業誘致助成事業
町内に工場等を新設するなどした企業を助成

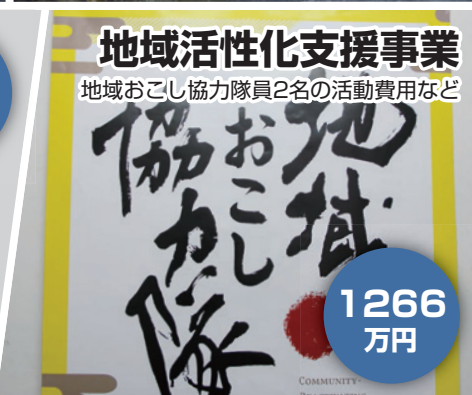
1560万円



地域活性化支援事業
地域おこし協力隊員2名の活動費用など

1266万円

地域おこし協力隊



消防団施設デジタル化整備事業
消防署と各分団屯所をつなぐサイレンの更新、車両無線機、携帯式無線機のデジタル化

4900万円



移住交流推進事業
空き家バンク登録物件の移住の改修補助や移住者への支度金

683万円

土庄町の空き家バンク制度



有害鳥獣被害防止対策事業
有害鳥獣駆除や侵入防止柵設置などを助成

1608万円



土庄町商品券発行事業
町内で使用できるプレミアム付き商品券を発行

3824万円

商品券 ¥1,000



合併60周年記念事業
土庄町合併60周年記念イベントなどを実施

1687万円

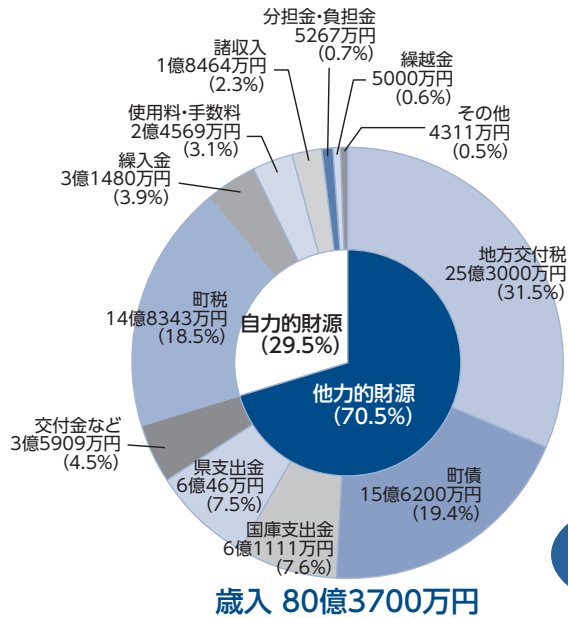


※平成26年度補正予算計上分も含まます

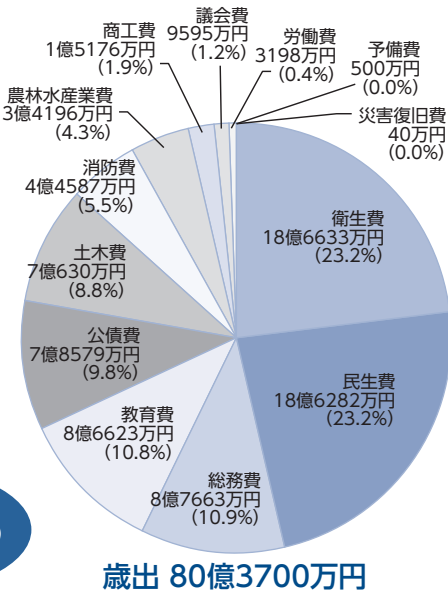
新年度予算

小豆島中央病院、豊島小・中学校、消防整備など

安心・安全のまちづくりに向けて



平成27年度
一般会計予算の
内訳



平成27年度各会計予算

会計名	27年度予算額	対前年度比	議決結果(賛成:反対)
一般会計	80億3700万円	△5.6%	可決(10:2)
特別会計	簡易水道	2億712万円	777.0%
	国民健康保険	23億6497万円	11.1%
	港湾整備	9296万円	△14.5%
	宅地造成	7980万円	△53.0%
	大鐸財産区	942万円	△1.0%
	農業集落排水	2346万円	△0.2%
	介護保険	18億403万円	12.9%
	福祉サービス	1億1392万円	△10.8%
	後期高齢者医療	2億3052万円	1.0%
企会計	水道事業	11億6617万円	△15.5%
病院事業	病院事業	18億7348万円	△1.1%

平成26年度補正予算

会計名	補正額	補正後	主な内容	議決結果(賛成:反対)
一般会計	△1億571万円	92億4716万円	事業実績による減額	可決(12:0)
特別会計	国民健康保険	△611万円	療養費、療養給付費の減額	可決(12:0)
	介護保険	5283万円	サービス利用実績の増加	可決(12:0)
	福祉サービス	△1318万円	ホームヘルパー等の賃金の減額	可決(12:0)
	後期高齢者医療	△150万円	健診委託料の減額	可決(12:0)
水道事業			消費税還付金1243万円を営業外収益に、配水管布設替工事費など1882万円を建設改良費に計上	可決(12:0)
病院事業			国保会計からの補助金13万円を営業外収益に計上	可決(12:0)

平成27年度予算案に対する討論

一般会計

反対 福本議員

同和事業の継続、マイナンバー制度の導入、粗大ごみの有料化、し尿収集の民間委託、土庄中央病院を廃止し、小豆島中央病院を建設するための予算に反対する。

国民健康保険事業特別会計

反対 福本議員

高すぎる国保税を前提とした予算に反対する。

介護保険事業特別会計

反対 福本議員

介護保険料の引き上げを前提とする予算に反対する。

賛成 濱中議員

高齢者介護の現状を考えれば、保険料の引き上げもやむを得ないので賛成する。

後期高齢者医療事業特別会計

反対 福本議員

制度自体の廃止を求める立場から反対する。

賛成 濱中議員

必要な制度だと思ふので賛成。

介護保険料を引き上げ 基準月額保険料600円増の5,300円に



主な条例の一部改正

◇介護保険条例

65歳以上の保険料の所得段階を8段階から9段階とし、基準保険料額を月額600円値上げする。

◇ひとり親家庭等医療費支給に関する条例

今年8月から、支給対象者のうち課税世帯の自己負担を廃止し、助成方法を償還払いから現物給付に変更する。

◇廃棄物の処理及び清掃に関する条例

今年6月から、粗大ごみ収集を有料化（品目ごとに320、1,280円）し、臨時収集手数料の改定（2トン車3,240円↓9,720円、4トン車6,480円↓19,440円）、町指定大型ごみ袋料金の改定（150円↓200円）を行う。

◇特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

交通指導員の報酬日額を700円から710円

に、地域おこし協力隊員の報酬を月額16万6千円とする。

◇職員の給与に関する条例等

人事院勧告に基づき給与制度を見直し、給料表を平均2%引き下げる。

◇町長及び副町長の給与支給条例

今年4月から1年間、町長の給与を半額（38万1,500円）とする。

◇すこやかエンゼル祝金等条例

今年4月から、第4子以降に対する祝金を10万円から20万円に増額する。



子どものすこやかな成長を願って

◇島ぐらし体験の家の設置及び管理に関する条例

移住希望者用の滞在施設を、現在の東洋紡跡地の旧クラブハウスから旧法務局跡に移転する。

主な条例の制定

◇地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

教育委員会制度の改革で、教育長が教育委員長の職務を兼ねる特別職となること、町長が教育施策の大綱を定めることになったことにより、関係条例を改正する。

その他

◇小豆医療組合規約の全部を変更する規約

・名称を小豆医療組合から小豆島中央病院企業団にする

・地方公営企業法を全部適用する

・常勤の企業長を置く



島ぐらし体験の家

◇香川県広域水道事業体設立準備協議会の設置

香川県広域水道事業体設立のための連絡調整や計画の共同作成を行うため、構成団体で設立準備協議を設置する。

構成団体：坂出市、善通寺市、直島町を除く県内市町と香川県

人事案件

◇教育委員の任命に同意

任期満了に伴う教育委員の任命に同意。
河原陽文 氏（再任）
（51歳・日進）

◇人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴い、委員として推薦することについて、適任とする。
田淵晃代 氏（再任）
（70歳・洲崎）

議案に対する討論

職員の給与に関する条例等の一部改正

反対 福本議員

政策決定権のない課長級以下の職員の給与の引き下げに反対する。

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

反対 福本議員

粗大ごみの有料化がごみの削減につながるかは言い切れない。不法投棄が増える可能性がある。住民が積極的にごみを削減したくなるようなリサイクルの推進などの政策が必要。

賛成 濱中議員

ごみのリサイクルは推進すべきだが、町財政の現状を考えれば手数料の引き上げはやむを得ない。

町長及び副町長の給与支給条例の一部改正

反対 川口議員

27年度も町長の給与を半額にする理由が財政難によるものか、昨年度の減額の理由と同様に、自身が経営していた会社の町税滞納の道義的責任によるものなのか明確でない。付託審査した常任委員会でも、本案は否決すべきとされている。財政難が理由であれば、昨年度以上の減額をすべき。

介護保険条例の一部改正

反対 福本議員

介護保険料を引き上げる改正なので反対する。住民負担の増加は許されない。

賛成 濱中議員

介護施設の増加により、サービス利用も増えているので、介護保険料の値上げはやむを得ない。

反対 福本議員

減額の根拠を求めている、明確な説明がない。総務建設常任委員会でも引き続き審議すべきと考えるので反対する。

賛成 佐々木議員

町長自身の判断で減額しているの、それを重く受け止め、賛成する。

賛成 泊議員

総合的に判断して減額しているので賛成する。

香川県広域水道事業体設立準備協議会の設置

反対 福本議員

町にとって本協議会に参加するメリット、デメリットも明確にされておらず、自己水源の廃止等も検討されているので、安全な水の供給が守られるとは言い切れない。拙速な協議会への参加は見送るべき。

3月定例会の審議結果

区 分	議 案 の 内 容	議決結果(賛成:反対)	区 分	議 案 の 内 容	議決結果(賛成:反対)
条 例 の 一 部 改 正	土庄町電動レンタサイクルの設置及び管理に関する条例	可決(12:0)	条 例 の 制 定	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決(12:0)
	土庄町島ぐらし体験の家の設置及び管理に関する条例	可決(12:0)		土庄町立学校の再編に伴う関係条例の整理に関する条例	可決(12:0)
	土庄町職員の給与に関する条例等	可決(11:1)		子ども・子育て支援法等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決(12:0)
	土庄町職員の特殊勤務手当に関する条例	可決(12:0)		土庄町立幼稚園一時預かり事業保育料徴収条例	可決(12:0)
	土庄町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例	可決(12:0)		土庄町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例	可決(12:0)
	土庄町長及び副町長の給与支給条例	可決(8:4)		土庄町教育長の勤務時間その他勤務条件に関する条例	可決(12:0)
	土庄町公民館設置条例及び土庄町高見山公園の設置及び管理に関する条例	可決(12:0)		土庄町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例	可決(12:0)
	土庄町福祉バスの設置及び管理に関する条例	可決(12:0)		土庄町し尿処理場の設置に関する条例	可決(12:0)
	土庄町子どもに対する医療費助成条例	可決(12:0)	そ の 他	土庄町辺地に係る総合整備計画の変更について	可決(12:0)
	土庄町ひとり親家庭等医療費支給に関する条例	可決(12:0)		土庄町道路線の廃止について	可決(12:0)
	土庄町すこやかエンゼル祝金等条例	可決(12:0)		土庄町道路線の認定について	可決(12:0)
	土庄町重度心身障害者等医療費支給に関する条例	可決(12:0)		香川県広域水道事業体設立準備協議会の設置について	可決(11:1)
	土庄町介護保険条例	可決(11:1)		小豆医療組合規約の全部を変更する規約について	可決(12:0)
	土庄町廃棄物の処理及び清掃に関する条例	可決(11:1)		香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び香川県市町総合事務組合規約の一部変更について(土庄町)	可決(12:0)
	土庄町農業担い手研修センター設置に関する条例	可決(12:0)		香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う財産処分について(土庄町)	可決(12:0)
	土庄町営住管理条例	可決(12:0)		香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び香川県市町総合事務組合規約の一部変更について(大鐔財産区)	可決(12:0)
案 人 件 事	土庄町教育委員会委員の任命について	可決(12:0)		香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う財産処分について(大鐔財産区)	可決(12:0)
	人権擁護委員候補者の推薦について	可決(12:0)			

総務建設常任委員会
での主な質疑

スポーツ振興奨励補助金
《川口》補助制度の具体的な内容は。

《答》町内の学校に在学する児童・生徒が四国規模以上の大会に出場した場合に、奨励金を交付する。



スポーツを頑張る子どもたちを応援

有害鳥獣被害防止対策事業費の増加

《福本》前年度予算から900万円増加した要因は。捕獲奨励金の額は上げたのか。

《答》鳥獣被害の増加により、防獣帯の設置や侵入防止柵の資材費用が倍増している。捕獲奨励金の額は上げていないが、捕獲数が前年度の3倍

上になっているので、予算全体を増額している。

空き家改修への補助

《福本》補助の内容は。

《答》空き家バンクに登録した物件のリフォームに対し、町と県の補助を合わせて100万円を限度に補助する。

町長給与を半額にする理由

《川口》財政難を理由に町長給与を減額するならば、昨年度以上に減額するべきでは。

《福本》減額の理由が、昨年度と同じ町税滞納問題の道義的責任によるものか、財政難によるものなのか明確でない。

委員会の審査結果は否決すべきものとした。

大部住宅の建て替え

《福本》建替事業の計画内容は。建て替え後の家賃はいくらぐらいになるのか。

《答》3期に分けて工事し、その後に集会所を新築する。家賃は応能応益制とするので、同じ間取りであっても、入居者の所得によって変わる。

県内水道の広域化を進める協議会への参加

《福本》町内の浄水場を休止した場合、安定した給水ができるのか住民に説明していないことが問題。協議会に参加した後でも、脱会が可能か。

企業誘致助成

《佐々木・山田》具体的な内容は。以前からあった事業か。

《答》固定資産投資額1億円以上、10人以上の新規雇用をした企業に助成する。この制度で助成するのは初めてである。

教育民生常任委員会
での主な質疑

社会教育主事の育成は

《上川》社会教育主事の資格がある職員も、異動になることについてどう考えているか。

《答》社会教育施策の充実のため、今後も資格保有職員を増やしていきたい。

御影浄苑の維持管理は

《太田》御影浄苑の修繕など、どのように維持管理していくのか。

《答》現時点で新たなし尿処理施設の方向性が決まっていないため、定期修繕など必要最小限の修繕を行い、大規模な修繕が必要となれば、補正予算で対応することになる。

粗大ごみ有料化の周知は

《濱中》粗大ごみ有料化の周知はどのように行うのか。

《答》町広報、ホームページで周知し、各種団体の総会等で説明する予定。

スクールバスの利用

《濱中》新たにスクールバスを利用するのはこの地区か。保護者からスクールバスのバス停について要望は出ているか。

《答》畝木地区は戸形線、大谷地区は四海線のバスを利用する。鹿島、大木戸、吉ヶ浦の一部、港新町地区は1～3年生の希望者は利用できる。保護者からの要望により、伊喜末地区にバス停を新設した。



スクールバスで下校

小豆医療組合の負担金

《上川》変更後の規約でも、負担金の割合は、均等割2割、人口割8割としているが、見直しは。

《答》小豆島中央病院の経営収支に合わせて協議する。

安否確認型配食サービスの実施

《山本》事業の内容は。どれぐらい利用できるのか。

《答》介護保険サービスを利用していない1人暮らし高齢者に対し、食事を配達する委託業者に安否確認をしてもらう。1人あたり月10回の利用を限度としている。

病院の入院看護体制は

《泊》現在の入院看護体制は維持できるのか。

《答》現在の体制を維持するには、夜勤ができる看護師の確保が必要。

医師確保の取り組みは

《議長》赤字の抜本的解消のためには医師の確保が必須。医師確保に向けての取り組みは。議会としても医師確保の取り組みを応援したい。

《答》院長、町長が関係大学、病院等に医師派遣のお願いに行っているが、常勤医の確保は厳しい状況である。

総合計画に沿って事業を展開



1 住んでよく、訪れて よかったと思えるまちづくり

- 合併60周年記念事業を通じた郷土への誇りと愛着の醸成
- 空き家改修費補助、移住希望者の利便性向上による移住人口の拡大
- 有害鳥獣被害防止対策をさらに強化

2 誰もが安全で安心して 暮らせるまちづくり

- 消防団組織の充実・強化
- 土庄中学校、豊島小学校の体育館を耐震化し、子どもの安全と避難所機能を確保
- 道路、橋、ポンプ場などの更新・修繕コストの縮減と施設の長寿命化

3 子育てしやすく、 賑わいのあるまちづくり

- 豊島小・中学校の併設に向けた校舎の耐震化
- 第4子以降の祝金を増額
- 全国大会等に出場する児童・生徒に、スポーツ振興奨励補助金を交付

4 住み慣れた地域で 豊かに暮らせるまちづくり

- 小豆島町等と連携し、医師・看護師の確保に努め、小豆島中央病院のソフト面を整備
- ひとり親家庭等医療費の課税世帯の自己負担を廃止
- 路線バス等公共交通の確保と利便性の向上

5 協働と連携により、 自立するまちづくり

- 民間委託の推進など事務事業の見直し、職員の意識改革
- 公共施設等総合管理計画の策定により、公共施設維持管理費を軽減、平準化
- ふるさと納税を通じた町のPR、地域活性化

《町長》町として取り組むたい施策があれば、国に訴えていく。県を通じて話はしていく。

《町長》国として国に意見をの取り組みを注視するところがあるが、国の政策が地域経済の衰退につながるようなものである場合、町として国に対し意見をののか。

《町長》昔は家庭でも栽培されていたので、ゴマに着目した。今後、町内産のゴマを使った製品の開発ができるよう取り組んでいく。

施政方針に対する質問

地域おこし協力隊員をどこに置く

《上川》地域おこし協力隊員を2人募集し、観光振興や移住交流活動の業務に従事してもらうとあるが、具体的には隊員をどこに配置するのか。

《町長》来年瀬戸内国際芸術祭もあるので、それとあわせて町をPRする業務や、移住者の相談業務、町への移住推進の業務に携わってもらいたいと考えているが、これから隊員を募集するので、具体的なことは未定である。

島ぐらし体験の家の利用
《山崎》短期の移住体験ができる島ぐらし体験の家を利用できる期間と利用料は。

《町長》1週間から最長3か月まで利用でき、利用料は1日あたり2千円。

病院経営をどうする

《山田》小豆島中央病院が開院するまで、土庄中央病院を維持できるのか。小豆島中央病院が開院しても赤字が出ると予想されるし、病院経営の赤字補填のために、どんな一般会計の予算を持ち出しては、町の財政が破綻するのではないのか。小豆島中央病院開院後は、土庄中央病院、内海病院、両町のへき地診療はどうなるのか。

《町長》平成27年度はできるだけ赤字を削減できるように、院長とともに尽力している。島外に通院している方に、土庄中央病院、小豆島中央病院を利用してもらえする方法を考え、病院の収益を上げていきたい。

土庄中央病院、内海病院は診療所になるが、診療科はまだ未定。へき地診療も続ける。

総務建設常任委員会
(12/24、1/20、
2/13)

水道課

県内水道の広域化

〔12/24の報告〕

土庄町の現在の水道料金は県内4番目の高さであるが、浄水場や管路など耐用年数を過ぎた施設が多いため、今後莫大な更新費用がかかり、単独経営を続ければ水道料金はさらに高くなっていく見込みである。水道料金を抑えるためにも、広域化に参画する必要がある。

《福本》広域化した後、高松市の料金に合わせて一時的に料金が下がっても、その後上がることはないのか。

《答》広域化して企業団を設立した後も、施設の更新経費はかかるので、そのときの経営状況に見合った料金が設定されることになる。

《福本》広域化に参画しない市町があっても、広域化を進めるのか。

《答》参画の意思がある

市町だけで協議会を設立するが、途中からの参画も認められている。

← 一部の委員から反対があったが、委員会として、広域化への参画に賛成する方向で協議を続ける。

〔2/13の報告〕

香川県広域水道事業体設立準備協議会の設置、規約、スケジュールなどに関する説明。

参加団体は、坂出市、善通寺市、直島町を除く6市8町と県であり、協議会設置後3年を目途に、広域水道事業体（企業団）を設立する。

総務課

どう対応する

〔1/20の報告〕

現在、エンジェルロードへの通行ドへの通行路として町が（株）小豆島国際ホテルから借りている土地を、税情報漏えいや入湯税の適正な徴収がされていない疑いによって町への信頼を失ったことを理由に、4月以降は貸付けしないと

通知があった。町としては、引き続き現在の通行路を使用できることが最善であると考え、対応を検討中である。



エンジェルロードへ続く道

〔2/13の報告〕

前回の委員会後に、町執行部がホテル側に対し、税情報漏えい問題の早期解決や入湯税調査に尽力していることを伝え、4月以降も現在の通行路を利用できるようにお願いした。ホテル側も町の結論が出るまでは、通行止めにする等は考えていないとのことであった。

《福本》エンジェルロードを町の観光資源として活用するのなら、土地を買ったとして、町が通行路を所有するべき。それを検討していないのか。

《答》現在の通行路を確保することが最善だが、現状では土地購入の交渉はできない。

税情報漏えい調査委員会の中間提言

〔中間提言の内容〕

- ・関係者の事情聴取内容の精査、関係資料・備品の調査を行ったが、新たな事実の発見には至らなかったため、警察の捜査の進展を待つべき。
- ・再発防止策（情報管理の徹底、コンプライアンス研修の実施、パソコンなどのアクセス、ログ管理）をできることから実施すべき。

《福本》今回のような情報漏えいは、提言されている再発防止策をしても防げない。これまで必要性を感じなかったパソコンのシステム導入に多額の予算をかけるのは納得できない。次回の委員会

で、調査委員から直接報告してほしい。

合併60周年記念の事業

記念事業として記念誌（戦争体験記）の作成、記念式典、コンサート、NHK公開番組、太鼓台まつりなどを検討中。これらの事業実施にかかる予算は約1,700万円。

公共施設の屋根貸しによる新たな歳入確保

公民館、学校など町内の一部の公共施設の屋根を貸し、業者が太陽光発電設備を設置することで、新たに賃料収入と固定資産税の増加を見込む。（20年間で約2千万円）

《川本》事業者との話を進める前に、議会に報告してほしい。一見、町にメリットがあるが、導入は慎重にすべき。

観光振興特別委員会 (2月16日)

商工観光課より、瀬戸内国際芸術祭2016の計画概要の説明を受けた。

《山本・濱中》土庄港に設置している「太陽の贈り物」の制作者は有名なアーティストなので、その評価も含め宣伝してはどうか。今後どのように活用していくのか。

《答》現状では作品を活かしきれていない。海を背景にしているという利点を含め、例えば周辺でイベントを行うなどの活用方法を検討したい。

《泊》来場者の満足度向上のためにも、新しい作品ができたり、以前からある作品も変化をつける等、有効活用を考えていかなければならない。



太陽の贈り物

教育民生常任委員会
(1/28、2/13)

地域医療再生対策室 土庄中央病院 小児科閉科についての対応

3月からの小児科の閉科と今後の小児医療等について、中学生以下の子どもがいる世帯へ周知文を郵送した。説明会の開催等による住民への周知を検討している。

《上川》3月から病児・病後児保育も廃止されるが、今後の利用はどうなるのか。

《答》内海病院の病児・病後児保育を利用していただくことになる。

《藤本》住民への周知が遅れているが、子どもを持つ世帯以外にも周知は必要なので、説明会はきちんと実施してほしい。



2月末で閉科となった小児科

住民環境課 一般廃棄物処理施設の整備状況

灘山の施設建設予定地の法面是正をする予定であった採石事業者が事業を実施できるかどうか分かるのは3月下旬になる。町としては、事業者が実施できない場合も考えて、県と協議しながら、灘山での施設整備を進めたい。

《太田》小江の最終処分場の使用期限が平成32年度末なので、新施設建設地はいつまでに決めるのか。

《答》施設整備に4～5年かかるので、平成27年度中には方針を決めなければならぬ。

粗大ごみ収集有料化

粗大ごみ収集は1つ320円とし、粗大ごみ収集有料化に伴い、臨時収集手数料を値上げする。仕入単価の上昇等により、大型ごみ袋の値段も値上げする。



粗大ごみシール

教育総務課 夏休みを1週間短縮

授業時間確保のため平成27年度から土庄小学校、土庄中学校の夏休みを1週間短縮する。

《泊》豊島地区での実施はどうするのか。

《答》検討中であるが、実施時期は未定。

教育委員会制度の改革

・新「教育長」の設置
教育長は議会の同意を得て、町長が任命し、現行の教育委員長と教育長の職務を一本化する。任期は4年から3年に変わる。

障害福祉計画の策定

平成27～29年度を計画期間とし、施設入所者の地域生活への移行、地域生活支援拠点の整備、福祉施設から一般就労への移行促進を進める。

小豆島中央病院開院に向けて

平成27年4月から小豆医療組合を地方公営企業法を適用した企業団に変更し、常勤の企業長を置く。病院建設は予定どおり進んでいる。医師確保対策としての寄附講座の設置については、平成27年4月に香川大学の医師3名による寄附講座が、内海病院で開設される見通し。

《濱中》介護保険料値上げについて、介護保険運営協議会での議論されたのか。

《答》介護サービス事業所等の開設等による影響を説明し、保険料値上げは理解いただいている。

《答》介護サービス事業所等の開設等による影響を説明し、保険料値上げは理解いただいている。

水道事業特別委員会
(2月16日)

肥土山浄水場更新工事 今後どう進める

これまで委員会で参考人招致を行ってきたが、参考人の欠席が続いており、12月定例会で提案された100条調査委員会による官製談合疑惑等の調査も否決された。このような状況下で、肥土山浄水場更新工事の入札を実施すべきかどうか協議した。

委員会としては、欠席している参考人の事情聴取をした上で判断することが必要だと考えているが、委員外議員の意見も求めるため、全員協議会で協議することとした。



適正な入札による工事の実施を

議員が町政を問う

3月定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。
全文記録（会議記録）は、土庄町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

▶土庄町ホームページ
<http://www.tonosho.kagawa.jp>



ここが聞きたい

質問議員	質問事項
山田 建之	○町長の資産等報告について ○税の徴収は公平・適正に行われているのか
濱 中 幸 三	土庄町「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定は
上 川 正 衛	小豆島の医療の将来像は
藤 本 誠 助	小豆島中央病院へは高齢者に優しいバス路線に
佐々木邦久	○移住施策について ○地域産品の育成について
福 本 耕 太	○豊島航路旅客船について ○放課後子ども教室について ○中学校グラウンド東側に照明の設置を ○水道広域化への拙速な参加は見送るべき
泊 満 夫	○ふるさと納税の取り組み強化を ○大庄屋笠井邸跡の取扱いをどうする



山田建之 議員

町長の政治倫理を問う

山田 条例に基づき作成する町長の資産等報告書には借入金記載が必要である。なぜ借入金額に、町長の債務の利息や延滞金を含んで報告していないのか。

町長 報告すべき借入金は、借り入れた元金そのものであり、遅延損害金等は含まないと考える。国会議員も法律に基づき資産等を公開しなければならず、報告書の記載要綱によると、相続税の延滞金等は記載不要となっている。

山田 過去に町長が経営していた会社が滞納していた町税は、時効により徴収できない。町に損害を与えていることになる

のでは。町として、損害賠償請求をするのか。

町長 弁護士等と協議する。

公正・公平な税徴収が行われているのか

山田 町長が経営していた会社の町税が、経営不振という理由で欠損処理されている。経営不振と判断する基準は。

税務課長 該当の欠損処理は、時効により徴収権が消滅したためであり、町独自で経営不振という理由付けをしていた。経営不振の基準ではないが、財産がないときや、滞納処分により著しく生活を窮乏させるおそれがあるときは、滞納処分を停止できる規定があり、その後、将来的には欠損処理することになる。

山田 差押えをすれば、欠損処理する必要はなかったのでは。経営不振の基準はないということか。

税務課長 個別に判断するが、過去の処理については、いろいろな問題があるように考えられる。

山田 以前から入湯税の徴収が適正に行われているかどうか指摘されているが、町として調査しているのか。

税務課長 この問題を放置すれば、納税意欲の減退や町の税務行政に対する信用失墜につながる。最重要課題として現在調査にあたっている。

山田 欠損処理に至る基準も曖昧であり、町長や副町長のさじ加減でどうにでもしてきたのではないかと。税収が減少するなかで、住民が納得できるような公平・適正な税の徴収をしていただきたい。



公正・公平な税徴収を



濱中幸三 議員

町長 土庄町版総合戦略は、人口の現状分析、推計等により、将来の人口

町長の施政方針でも、土庄町版のまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するとしているが、将来人口や、子育て支援、雇用等の数値目標を定め、全力を挙げて取り組まなければならない。総合戦略策定にあたって、若者、大学、地域おこし協力隊員等との協働をどう進めていくか。

濱中 日本創生会議が発表した消滅可能性がある自治体に土庄町も含まれている。出生者数も年々減少しており、このままでは町が消滅してしまう。

土庄町版総合戦略の策定は



移住希望者対象の島ぐらし体験ツアー

減少を克服するための数値目標を立て、事業を展開していく。
総合戦略の策定にあたっては、幅広い年代の住民、産業界、研究機関、金融機関、労働関係、メディア等で構成する有識者会議で審議し、地域再生のために取り組むべき事業等を具体的に定める。総合戦略の策定により、急速な少子高齢化に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけ、活力ある土庄町を維持していきたい。

濱中 総合戦略には、具体的な数値を積み上げていただきたい。例えば、5年後の空き家の活用件数や移住者数など、具体的な数値を挙げて、将来の人口減少を食い止める施策の実施を望む。

企画課長 将来人口の推計や人口変化が地域に与える影響を分析し、今後5年間の観光入込客数、移住者数、出生者数、公共交通の利用者等客観的な指数を設定し、定住につながる施策を展開すること、人口減少と地域活性化に取り組んでいく。

小豆島中央病院は島の医療の核となることは間違いないが、医師が確保できるかどうか不透明である。小豆島町とともに、医師派遣をもっと強く県に要望すべきではないか。
土庄中央病院の空き病室に研修医の訓練施設を整備することだが、跡地利用についてどう考えているのか。



上川正衛 議員

小豆島の医療の将来像をどう描く

上川 平成28年春の開院に向け、小豆島中央病院の建設が進んでいるが、住民への情報提供が不足しているのではないかと感じている。開院までの全体計画、取り組み等をもっと知らせるべきでは。

企画課（地域医療再生対策室）長 開院まで約1年なので、診療体制など運営面の準備を進め、病院のパンフレットの作成など広報に努める。

医師派遣の要望については、県自体も医師不足であり、医師確保が困難な状況である。小豆島町、小豆医療組合と連携し、県、大学等に積極的にお願ひするなどの取り組みをしていく。議員各位にも、医師確保に協力いただきたい。医師の知り合い等がいれば、町に情報提供してほしい。

土庄中央病院跡地は、診療所として整備する予定。三宅院長がこれまで取り組んできた地域医療人材育成のため、空き病室に医療用シュミレーターを設置する。旧東洋紡クラブハウスを地域医療交流施設として整備し、研修医の受け入れを進める。



建設が進む小豆島中央病院

上川 今後は小豆島中央病院のソフト面の情報提供の充実をお願いする。医師確保は難しいと言っている現状なので、より一層積極的にお願ひするべき。研修医の受け入れは、島にとってプラスになるので、進めていただきたい。

町長 3月から12月まで常時3、4人は研修医を受け入れる予定と聞いている。地域医療交流施設も活用していきたい。



藤本誠助 議員

小豆島中央病院に通院しやすいバス路線に

藤本 車を運転できない高齢者は、小豆島中央病院への通院の足となるバスについて心配している。バス利用が不便であれば、高松等へ通院する方が早いという声もある。通院しやすいバス路線にして、1人でも多くの方が小豆島中央病院を利用できるようにすることが必要では。町内の各バス路線を、小豆島中央病院に乗り継ぎせず行けるようにしていただきたい。

企画課長 路線バス利用者の減少にともない、路線バスを維持していくことが難しい状況である。

ここ数年で、瀬戸内国際芸術祭の開催、小豆島中央病院の開院、新高校の開校など、路線バス利用者の流れが大きく変わる予想されるため、平成27年度から、小豆島地域公共交通協議会で、バス路線や運賃の見直し、バス利用促進などについて検討する。積極的にバスに乗り、公共交通を守り、育てる意識の醸成にも努めたい。

合は、福祉バスの活用等も含め検討する。

藤本 小豆島中央病院への直行バス路線ができない場合、1枚の乗車券で利用できるなど、乗り継ぎがスムーズになるよう配慮してほしい。電子マネーカードの利用促進も必要では。特に高齢者に負担がかからないような方法をお願いしたい。

町長 小豆島地域公共交通協議会で、小豆島中央病院へ乗り継ぎなしで行けるバス路線になるよう話し合いたいと考えている。それが実現しない場合、

企画課長 まずは、バス利用者の実態を把握し、地域公共交通に関する計画を策定し、地域が必要とするサービスを見極めて交通政策を検討・実施する。



高齢者が通院しやすいバス路線に

移住施策の充実を

佐々木 町長の施政方針にも移住人口の獲得に取り組むとあるが、過去5年間の町内への移住者の人数と職業は。移住施策に関する予算額は。昨年度からどれぐらい増えたのか。

企画課長 過去5年間の移住者数は142組、199人であり、職業は、カフェを開いたり、介護・福祉関係の仕事に従事したりさまざまである。

平成27年度の移住関連施策の予算は、前年度予算に計上して繰り越すものも含めると、1,155万円であり、前年度から約977万円増加している。



佐々木邦久 議員

佐々木 新たに募集する地域おこし協力隊員に、移住交流活動に従事してもらいたいということだが、具体的にはどのような仕事をしてもらうのか。

町長 応募者の知識、経験、アイデアによるが、土庄町への移住者を増やすための方法や、移住先としての土庄町のPR、移住後の移住者のフォローなど移住促進につながることに取り組んでいただきたいと考えている。

地域産品としてのゴマの育成をどう進める

佐々木 新たな地域産品として育成すべく、ゴマの生産を進めたいとのことだが、以前から考えていたことなのか。なぜゴマに着目したのか。

町長 昔は、どこ家庭でもゴマを栽培していたし、町内にはごま油の製造工場もあるので、以前からゴマを活用できないか考えていた。まずは、町内で多くの方にゴマを

栽培してもらい、特産品として育成していきたい。新たな試みであり、販売先等もまだ白紙なので、JA等関係機関とも相談しながら、取り組みたい。

佐々木 新年度予算に、ごま生産推進事業補助金として30万円を計上しているが、その内容はどのようなものか。

町長 多くの人にゴマを栽培してもらうため、費用を補助する。ゴマの種や苗は低価であり、取り組み初年度なので、30万円が妥当と考えた。

佐々木 より多くの人に栽培してもらえよう、予算の有効活用をお願いしたい。



ゴマの栽培を推進

福本 「増便しても積み残しが起きている」と住民から声が上がっている。フェリーを2隻にすることが、抜本的対策になる。

町長 強風による運航停止は、今後も引き続き協議する。積み残しは、芸術祭中やお盆などに増便している。

福本 町は、フェリーから旅客船への変更を認める際、「住民生活に迷惑をかけないことが前提」と述べているが、現在、強風による旅客船の運航停止や芸術祭時の積み残しが起きている。これをどう改善するのか。

豊島航路変更で起きている問題にどう対応する



福本耕太 議員

放課後子ども教室は安全な場所

福本 町は、新小学校建設の理由の1つに、学校施設が耐震化できていないことを挙げていた。しかし、今後も耐震化できていない旧施設で放課後子ども教室が実施され、子どもの安全を置き去りにして、建設事業ばかり急いだ結果の弊害であり、矛盾だ。早急に安全な場所を確保すべき。



放課後子ども教室での子どもたち

生涯学習課長 今後、保護者などの意向を聞きながら検討する。

中学校グラウンド東側にナイター設備の設置を

福本 メンテナンスや器具の寿命を考えれば、再利用は考えにくいとの説明だったが、照明設備は、中央グラウンドから取り外した2台を再利用し、ポールだけ新たに設置すれば、住民の貴重な財産は無駄にならない。仮に、将来照明設備を取り換えれば、ポールは使用できる。

教育総務課長 再利用が不可能とは言っていない。

水道広域化への迅速な参加は見送るべき

福本 県は、香川用水の全量使用、自己水源の削減など参加自治体に条件を出しているが、将来にわたってのわが町におけるメリット、デメリットさえはつきりしていない。

水道課長 シュミレーションでは水道料金の抑制効果がある。

ふるさと納税を増やすため取り組みの強化を

泊 制度開始以降の土庄町へのふるさと納税額の推移は、4月からふるさと納税の控除額が倍になることから、寄附額の増加が見込まれる。ふるさと納税額をさらに増やすために、担当職員の増員、クレジットカード決済などの寄附しやすいような申込み方法、返礼品の開発などは考えているのか。

企画課長 平成20年度以降のふるさと納税額は、少ない年で約80万円、多い年で約1千万円で、平均で約400万円。現在、ふるさと納税業務を一括して業者に委託する準備をしている。ネット上でクレジット



泊 満夫 議員



ふるさと納税の返礼品の一部

カード決済もできるようになるので、寄附額の増加、業務の省力化につなげたい。新たな返礼品の開発は、商工会やJANAなどと連携して取り組み、地元特産品のPR、産業育成に寄与できるよう努める。

泊 業務委託はいつ頃を予定しているのか。町の担当職員は増員しないのか。集中的に取り組みを強化する期間だけでも増員するべきでは。

企画課長 業務委託は6月上旬からを予定している。職員の増員は考えていない。

迷路のまちにある笠井邸跡の取扱いをどうする

泊 旧笠井邸の建物の崩壊が進行している。修復や保存をどうするのか。利用方法や運営方法についても、早急に検討委員会を立ち上げるべきと考えるが、どうか。

町長 平成27年度早々に建物の調査を実施し、調査結果をふまえ、元所有者の希望も考慮して、まちづくりに生かせる活用方法を検討する。その際には、検討組織をつくって、幅広い意見を集めた。

泊 検討組織の立ち上げはいつ頃になるのか。

商工観光課長 建物の調査、文化的な資産価値の検証も必要なので、具体的な時期は決まっていない。

泊 早急な検討組織の立ち上げをお願いしたい。

まわりの
元気印

ホットハートサポーター



メンバーの皆さん

Q メンバーは何人ですか。
A 全体では33人です。

Q 主な活動内容は。

A 毎月1回の定例会、地域で高齢者が集まれるサロンづくり、グループホーム入居者との交流、中央病院入院患者に対するお話ボランティアなどです。

Q サロンではどのようなことをされていますか。

今回は、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、居場所づくりなどに取り組まれているホットハートサポーターの皆さんに登場いただきます。メンバーの皆さんにお話をうかがいました。

Q 活動を始めた時期ときっかけを教えてください。

A 介護予防サポーター養成講座修了者のうち、「何か自分たちができることをしたい」という者が集まる形で平成19年に活動が始まりました。

Q サロン活動も広がり、何年も継続されているので、高齢者の方の居場所になっていますね。

A 現在町内9か所でサロンを実施していますが、内容は地域によってそれぞれです。体操、手芸、指あそび、おじゃま、季節の歌、お茶を飲みながらのおしゃべりなどをスタッフと参加者が一緒に楽しんでいます。定例会で、情報交換をして他地域の活動を参考にすることもあります。

A 月1回のサロンでのおしゃべりを楽しみに来てくれる方も多いので、嬉しいですね。

A スタッフも自分できめる範囲で楽しむことが活動を長く続ける秘訣だと思います。参加者の希望を聞いて、「こんなことをしてみよう」と考えるのも楽しみです、やりがいにつながります。



季節の歌や童謡を歌います

Q 今後の活動の目標や活動する上での課題はありますか。

A 閉じこもりがちになっっている高齢者の方こそサロンに来てほしいですが、が無理強いはいけませんし、

自分たちにとこまでできるのかと感ずることはあります。

A ホットハートサポーターだけでなく、地域のいろんな人をボランティアに巻き込んでいくことが必要だと思っています。



みんなで楽しく手あそび

Q 町や議会に対する要望はありますか。

A 各地域でサロンなどの居場所づくりを進めるためにも、無料で借りられる場所を増やしていただきたいです。

A これからどんどん高齢化が進み、介護難民が増えれば、月1回程度のサロンでは間に合いません。地域の人が誰でもいつでも気軽に集まれるような居場所づくりの支援をぜひお願いしたいです。

高齢化が進む土庄町において、ホットハートサポーターの皆さんの活動は、とても重要な役割を持っています。今後の活動のさらなる発展を期待しています。

編集後記

新広報委員一同、広報のさらなる充実に努力していきますので、よろしくお願いします。

自治功労表彰

2月6日の全国町村議会議長会第66回定期総会で藤本誠助議員が自治功労者（議員在職15年以上で功労のあった者）として表彰されました。



時代、「診療科目も増え、県や香川大学の協力で医師の確保も期待でき、医療の充実が今まで以上に「はかれる」（議会、だより50号、編集後記）」と述べています。その根拠を質し、現実化させる責任が議会には問われます。

《福本耕太 記》

生の声を
議会の
聞いてみませんか？

次回定例会は

6月下旬から

の予定です

詳しくは議会事務局へ

☎ 62-7011

議会日程は町ホームページでもお知らせしています